

2026年8月7日

報道関係各位

株式会社JPF

《MTBチーム所属選手、JOCジュニアオリンピック優勝》

株式会社JPF(本社:東京都千代田区、代表取締役:渡辺俊太郎)が運営するマウンテンバイク(以下「MTB」)チーム「Dream Seeker Jr. Racing Team(以下「DSRJ」)」所属の郷津輝(ごうづ ひかる)選手が、8月1日に長野県白馬村で開催されたJOCジュニアオリンピックカップ/全国ユース選抜MTB大会で優勝しました。

DSRJは、当社が自転車振興事業の一環として2021年から2023年に実施した小・中学生向け選手育成プロジェクト「Top Cyclist Academy」の卒業生で構成するMTBチームです。UCI(国際自転車競技連合)が定めるジュニアカテゴリー(17~18歳)に進む前の世代を対象に、将来の活躍を見据えた育成に取り組んでおり、今回の優勝は、その成果を示すものとなりました。

選手プロフィールと優勝コメントは以下の通りです。

選手名	ふりがな	クラス	都道府県	生まれ年
郷津 輝	ごうづ ひかる	男子ユースU17	東京都	2010年



公益財団法人日本自転車競技連盟 橋本聖子会長よりメダルを授与される郷津選手

■郷津選手コメント

1周3kmのコースを4周するレースでした。スタートでは少しミスをしたのですが、3周目までは先頭集団でレースを展開し、少しずつペースを上げていきました。最終周回でさらにペースを上げて後続との差を広げ、最後の直線で勝利を確信しました。そのままトップでフィニッシュできて、とてもうれしかったです。来年からはジュニアカテゴリーで戦います。全日本選手権やアジア選手権で優勝し、世界で活躍できる選手を目指します。

■JPFが考えるアスリート育成パスウェイ

当社は、公益財団法人日本自転車競技連盟が提唱する「アスリート育成パスウェイ」の考え方に賛同し、自転車振興事業に取り組んでいます。

「自転車に乗る」「自転車で遊ぶ」ことを入口に、自転車をスポーツとして楽しみ、技術や競技力を磨き、大会や世界の舞台へ挑戦するまでを一貫して支えることが、「JPFが考えるアスリート育成パスウェイ」です。また、幼少期にMTBやBMXなどのオフロード種目を経験することで、バランス感覚や体幹、コーディネーション能力などの基礎的な運動能力を養い、将来さまざまな自転車

競技で活躍するための土台になると考えています。

当社が包括運営を受託している競輪場では、補助輪外し教室やスポーツバイク体験会、競輪場のバンク走行教室を開催するほか、パンptrackやBMXレースコースを運営しています。こうした活動を通じて、子どもたちが自転車と出会い、楽しみながら段階的にステップアップできる環境を整え、将来のサイクルスポーツを担う人材の育成に取り組んでいます。

JPFが考えるアスリート育成パスウェイの詳細は、以下のFactbookをご覧ください。

https://www.jpf.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2026/04/JPF_factbook_2026.pdf

【株式会社JPFについて】

1950年、競輪やボートレースなどの公営競技におけるゴール着順判定用スリットカメラを発明。以来、多くの公営競技場において判定業務を支えてきました。2010年からは公営競技場のトータルマネジメント事業を開始し、全国各地で運営支援を展開しています。「人の成長機会を提供できる企業であり続けること」を理念に、地域活性化やサイクルスポーツ振興など、多様な取り組みを推進しています。

【メディアキット】

素材は本プレスリリースを掲載していただく場合のみ使用可能です。

<https://drive.google.com/drive/folders/1yn5wZ9qfTLUZOjPx0d-pFGEws3baZfDM?usp=sharing>



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社JPF

スポーツ・地域振興部（雨宮）

TEL: 03-6697-7166

問い合わせURL: <https://www.jpf.co.jp/contact/press/>



【お問い合わせ先QRコード】